

# サッカー協会

昭和 48 年創立

平成 20 年（2008 年）現在、登録会員約 2,500 名の人達が日々サッカーを楽しんでいる。チーム数は、少年 64 チーム、少女 1 チーム、中学生 15 チーム、一般 22 チーム、そしてオールド 10 チームの計 112 チームである。それぞれのチームを少年・中学・高校・一般・オールドの各委員会、技術委員会、審判委員会、広報委員会の 8 委員会で指導し、運営している。

一年間の主な大会は、少年は市総体、リーグ戦、全国大会県予選、協会長杯、県選手権、茅ヶ崎杯グリーンカップ。中学は市総体、湘南地区新人戦、県総体、春・夏の県大会、協会長杯。高校はインターハイ、湘南地区高校サッカー大会、関東大会県予選。一般の部は、市総体、リーグ戦、選抜選手による県総体。オールドの部は市総体、リーグ戦、県議長杯（40 歳以上、50 歳以上）、全国シニア大会（50 歳以上）、県シニア大会（60 歳以上、70 歳以上）などである。

この 10 年間の協会運営は、三村前会長の指導のもと、茅ヶ崎サッカーの技術レベルの向上に力を注いできた。その一つとして、技術委員会を再び設け、下部組織とし

てトレーニングセンターを位置づけ、少年・中学のレベルアップを図ってきた。次に、技術委員会による指導者講習会を頻繁に行うとともに、ウィントン・ルーフアー氏によるサッカークリニック、三村前会長やサッカー会で活躍中の佐藤長栄氏、早野宏史氏、遠藤雄大氏による講習会も行ってきた。また、ベルマーレのコーチを招き、トレーニングセンターの指導を仰いできた。これらの成果として、少年は「梅田」が県 6 位、「鶴が台」はベスト 8、「FC. 504」は県チャンピオンシップベスト 8 となり、少女は「茅ヶ崎 FC なぎさ」が県大会準優勝、関東大会 3 位の好成績を収めた。中学では、平成 15 年（2003 年）、松林中が春の県大会優勝、平成 17 年（2005 年）は円蔵中が準優勝と輝かしい成績を上げた。一般も県総体で 2 回（平成 18 年（2006 年）度・平成 20 年（2008 年）度）ブロック優勝をしている。これらは確実に技術レベルの向上が図られた結果と考えている。

5 人制で行うフットサルやビーチサッカーなどの普及に努め、生涯スポーツとしてサッカーを楽しむ人達のための環境づくりも進めてきた。フットサルは少年・一般・女子・オールドの部を総合体育館で行い、

室内ゆえの独特の雰囲気の中、熱戦を繰り広げている。

茅ヶ崎の祭 湘南祭の一つのイベントとしてビーチサッカーをサザンビーチ（茅ヶ崎海水浴場）で行っている。毎年、県内外から老若男女の 80 を超えるチームが参加し、体中砂だらけになりながらボールを追っている。また、火山の噴火で都内での避難生活を余儀なくされていた三宅島の小・中学生を招待し、ビーチサッカーを楽しんでもらったこともあった。

40 歳以上のオールドの部は、全国でも珍しいリーグ戦を行うなど益々盛んになり、県の代表として関東大会、全国大会にも出場し好成績を残している。



(ビーチサッカー)

そして 2008 北京オリンピック。「なでしこジャパン」の DF (ディフェンダー) として、FC 今宿出身の柳田美幸選手が出場し活躍してくれたことは、茅ヶ崎サッカーにとっては大変誇らしく、嬉しいニュースであった。

#### 【歴代会長】

初代 加藤 勇

昭和 48 年 (1973 年)

～昭和 62 年 (1987 年)

二代目 三村 恪一

昭和 63 年 (1988 年)

～平成 17 年 (2005 年)

三代目 福岡 正之

平成 18 年 (2006 年) ～



(平成 20 年 (2008 年) 度 県総体優勝メンバー)